三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 26 年 11 月 26 日

上海デスク（上海納克名南企業管理諮詢有限公司）

「中国人社員の「発展空間」とは何か？」

中国人の仕事におけるキャリア観を考察するキーワードとして、「発展空間」という概念があります。

日本と中国の求人広告内容の違い

日本の求人広告と中国の求人広告の相違点として、例えば日本のファミレスの求人では、最初は時給〇〇〇円～、というように職務内容による給与の違いはあまり無く、一般的に勤続期間により昇給します。一方、中国のレストランの場合では、ホール〇〇元～、厨房〇〇元～、皿洗係〇〇元～、出納係〇〇元～と業務内容の序列とそれによる給与格差が存在します。そのため、同じ仕事をずっと続けても勤続年数により給与がアップすることはあまりありません。

この会社は、成長して将来の展望が見える「発展空間」があるのか？

中国での求人広告では、「発展空間」という単語が頻繁に使用されます。この中国語の「発展空間」とは、将来の展望が持てるように成長できる場所という意味で、キャリア形成としての給与の上昇や専門性の向上を示しています。中国人は自身の給与アップの為には、キャリアを積んでポスト（職種）を上げていく必要があるが、会社に「発展空間」が無ければ自身のキャリアも広がらず、結果として給与もアップしないと考えています。

日本人の多くは、中国人はすぐ転職して長続きしないと認識する傾向がありますが、中国人スタッフから見ればその会社には自身にとっての「発展空間」がもうこれ以上は無い、と感じているのかもしれません。日本人にとって仕事の「やりがい」も重要ですが、「やりがい」だけでは中国人はついてきません。必ず金銭的裏付け（給与アップ）が必要なのです。

「社会主義」と「市場経済」による不平等社会

近年、世界経済を牽引する中国の経済成長ですが、基本的には現在でも中国共産党政権による社会主義国家です。この社会主義と市場経済の矛盾が貧富格差の拡大問題を生んでおり、例えば、中央政府・地方政府の役人による汚職収賄や、国有企業による重要産業の市場利益の寡占など、富を得られる者は実は限られており、それは役人

になる場合にコネが必要、国有企業に入社する為にもコネが必要など、本人の能力とは関係ない環境や条件で決まってしまう、明らかな不平等社会が中国には存在しています。

そのため、多くの中国人はこの不平等社会の中で勝ち抜くため、自身のキャリアやポストの上昇を重視しています。また中国人はそもそも会社を信頼しておらず、明確なキャリアパスと金銭を提示してもらわなければその会社に入社する気にもなりません。自分が頑張ったら会社は何をしてくれるのか、中国人は仕事の上でその様な事をいつも気に掛けています。